

- ・コラム (杉浦 良)
- ・東日本大震災復興支援
- ・お知らせ (活動紹介、ご寄付)
- ・メンバーのコーナー
- ・リサイクル作業所日記 2011
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

143号/2011年 *Since 1984*

—「東日本大震災に思う」—

杉浦 良

3月11日、東北で大きな地震があったそうだという噂を耳にしました。たまたま津波の押し寄せる映像を、郵便局のテレビで見て、尋常でない災害の大きさを知りました。「たくさんの住民が押し流されただろう・・・」という予測と「海沿いの原子力発電所は大丈夫だろうか？」という心配が重くなりました。

1998年(平成10年)2月に、太陽と緑の会はソーラーパネル8枚(1枚135w)を屋根に設置して、1.08kwの発電を開始しました。イオン環境財団からの100万円の助成と、自己資金40万の140万円で1kwを発電するわけですから、残念ではありますが、道楽者の遊び事業としか見ていただけませんでした。当時太陽光発電は圧倒的少数派でした。しかしめげずに、2000年(平成12年)8月に自己資金230万円をかけてソーラーパネル28枚(1枚145w)、4.06kwを増設しました。36枚のパネルで5.14kwを発電するのですが、総工事費を考えると、火力や原子力や水力で発電した電気を買ったほうが得に決まっています。それでもこの事業をやることの意義を、太陽と緑の会月の宮生活棟・作業所で取り組んでいる、自然循環システムに重ねました。自然循環システムと言っても大げさなことではなく、生活排水は川に流さず排水池に入れ、人間のウンチやオシッコはバクテリアに



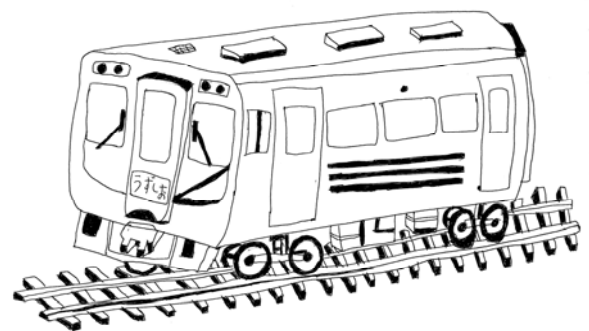
メンバーと
ボランティアの方
による
花壇の手入れ

分解させて畑の肥料とし、生ゴミ（野菜クズ等）はニワトリに餌として食べてもらい、ダメなもの（タマネギの皮、ミカンやスダチの皮、タマゴの殻など）はコンポストボックスに入れて堆肥にするなど、「リサイクルの輪」をなるべく生活にまで組み入れ、環境負荷もコストも少ない生活スタイルを実践しようと、20年前から取り組んでいるものです。屋根に降り注ぐ太陽エネルギーを、そのまま電気として使えば、送電ロスも送電コストも少なくてすみます。それが最終的には省エネになり、二重屋根として夏の暑さもマシになるのでは、と思ったわけです。その後2007年（平成19年）3月には、ソーラーパネル32枚（1枚180w）を増設して、5.56kWを加算し、約11kWの発電能力となりました。このことより同じ広さの建物の平均電気使用量の、約1/28で済ますことができるようになりました。2008年（平成20年）3月にソーラーパネル28枚（1枚180w）をさらに増設して、5.04kWを加算し、総発電量は約16kWになりました。電気はほぼ自給自足（雨の時は電気を電力会社から購入し、晴れの際は余剰電気を販売することで）が可能となりました。当初から比べればソーラーパネル1枚の発電量も増え、コストも安くなりました。また1kW24円だった電気買取価格が、2009年11月より、倍の48円になるというので大喜びしました。残念なのは、10kWを越す太陽光発電設備はダメということで、大喜びした分、ガックリきましたが・・・。

それでも屋根に降り注ぐ太陽エネルギーが、今この文章を書いているパソコンや蛍光灯を動かしているということが、何やら私を心地よく嬉しくさせるのは不思議です。そして心地よく嬉しくさせるだけでなく、このことがエネルギーのセーフティーネットとして機能しているのです。私が偉そうに言うまでもなく、食物の地産地消やエネルギーの地産地消は、日本のこれからの大きなテーマです。

東日本大震災で、東京一極集中構造自体が、根底から揺さぶられているように感じます。せめて大阪との二極、できれば三極、四極での日本の経済やエネルギー構造の構築の必要性を、この20年思ってきました。地方の時代といわれながらも叶わなかった今、東日本大震災で被害を受けた地域の再生と、犠牲になられた方々のご冥福を祈らずにはおれません。

特急うずしお



平成22年4月23日から24日まで福岡県へ旅行に行きました。帰りは岡山発の特急うずしおにのりました。ぎゃくほうにて出発して宇陀津駅で前むきで徳島駅まで行きました。自分はノストップ列車にのたのは初めてです。勝王帝駅でおりました。

文・イラスト 藤田さん

東日本大震災 復興支援

約 19 万円をカンパさせて頂きました

宮城県三陸沖で発生した「東日本大震災」の被災者の皆様への復興義援金として、3月14日、太陽と緑の会福祉事業団から徳島新聞社に 18万8780円 を持参、日本赤十字社徳島県支部を通して被災地へ送らせて頂きました。

太陽と緑の会では、資源ごみ（新聞・雑誌・ダンボール・廃食油・鉄くず・缶・ウエス）のリサイクル活動を通じて徳島市より頂いた資源ごみ奨励金をすべて、社会的に意義のある活動に取り組んでおられる非営利団体・個人の皆様に寄付させて頂いてきました。平成5年から現在までの寄付総額は約1060万円になります。

今回の震災に対し、メンバーの方からも「自分たちに何かできることはないか」との声が上がりました。

「メンバーの皆が頑張っていて、新聞や雑誌やダンボールを選別して、積んだことで頂いた資源ごみ奨励金の中から、今回の震災の復興義捐金としてカンパします」と朝ミーティングで話をしました。

様々なハンディを持ったメンバーへの給料として還元したら、と有難いお言葉を頂くこともあるのですが、皆様から支えて頂くだけではなく、少しは社会に返していく必要がある、との考えから、このような取り組みを続けています。

チャリティライブ開催 約 23 万円を送金しました

3月16日19時～21時、般若院（徳島市寺町）本堂にて、おおたか静流さんのチャリティライブが開催されました。

主催者の般若院ご住職のご厚意でチャリティは太陽と緑の会に寄付して下さる予定でしたが、東日本大震災が発生したことを受けて、復興支援チャリティライブとさせて頂きました。

ご来場頂いた150人を超える皆様より、19万666円のチャリティが寄せられました。おおたか静流様のご厚意でCD17枚の売上金4万2000円もチャリティとし、総額 23万2666円 を、当会が長年に渡りサポートしている「社会福祉法人ありのまま舎」（身体障害者支援・難病ホスピスなどの活動）を通じ、被災者の皆様への支援に役立てて頂くことになりました。

おおたか静流様を初め、ご協力下さった皆様、ありがとうございました。

この度は、本当にありがとうございました。

平成23年3月

社会福祉法人ありのまま舎
理事長 大坂 純
常務理事 白江 浩

本来ならば、貴会が受けるべきチャリティを、
私どもの為にご配慮頂きました事に、胸が
とても熱くなりました。

皆様の想いが込められたこのチャリティを、
大切に活用させて頂きます。

おおたか静流様にも、本当に宜しくお伝え下さいませ。

お知らせ

活動紹介・メンバー紹介

「厚生福祉」(時事通信社)平成 23 年 2 月 18 日号の「地域を支える」にて、当会の活動を紹介して頂きました。

17 年前に当会のワークキャンプに参加し、現在は富山県の特別養護老人ホームで働いている H さんから「記事を読んで懐かしく思いました」とのメールが届き、全国発信の大切さを改めて感じました。

□ハスピープルのための快適生活マガジン「ソトコト」(木楽舎)4月号の特集「明日の社会貢献 100」にて、「地域のよさを感じられる国内 NPO+NGO 77」として当会の活動を紹介して頂きました。

2月9日～13日、テレビトクシマ(CATV)の「らぶ!らぶ!徳島」という番組にて、太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー米田さんの詩集について紹介して頂きました。

ご寄付頂きました

3月16日、おあたか静流様より太陽と緑の会へ5万円のご寄付を頂きました。

また、般若院(徳島市寺町)に設置してある募金箱から太陽と緑の会に総額5万9083円のご寄付を頂きました。長年かけて集めて下さったとのことでした。

大切に活用させて頂きます。本当に有難うございました。

来所・見学

2月12日午前10時～午後1時30分、愛知県知多市から、竹内さんを始め22名の皆様が見学に来られました。

昨年8月、柳澤監督の映画上映会にて杉浦が講演をさせて頂いた時のご縁で、今回の見学が実現しました。

見学に来られなかった皆様から、ご丁寧にご寄付も頂戴致しました。ありがとうございました。



店内清掃

当会の様々なハンディを持ったメンバーが、毎日丁寧に行います。

会議・研修・講演など

2月10日 2010年度四国ブロック隣保館関係職員研修会にて、シンポジウム「地域に浸透する実践を展開するための戦略」のシンポジストとして、杉浦が出席。太陽と緑の会の26年半に渡る地域社会での取り組みを中心に話をさせていただきました。

2月13日 第7回環境ボランティア交流会(主催:とくしま環境県民会議)が藍住町(福祉センター町民会館)にて開催。当会からは杉浦が実行委員として参加、職員の松村、メンバーの走川君、宇津君が参加

3月1日、4月8日 午後6時30分～午後9時、新しい公共支援事業についての意見交換会 専任職員小山出席

2月24日 平成22年度四国ブロック精神保健福祉促進研修会開催 当会代表杉浦出席。主催の徳島県精神障害者家族会連合会に、研修会開催支援として太陽と緑の会福祉事業団から1万円のご寄付をさせていただきました。

3月5日 午前10時～午後2時、わーくウエル感謝と交流の集い(社団法人徳島県労働者福祉協議会他主催)が開催。当会代表杉浦出席。

3月5日、19日 あみ(全国精神障害者地域生活支援協議会)全国大会 第3回・第4回実行委員会。杉浦出席。



昼食の準備と後片付け

地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所では、昼食の準備(ごはん炊き、みそ汁作り、配膳)から後片付け(食器・鍋・炊飯器洗い、テーブル拭き)まで、様々なハンディを持ったメンバー主体で行っています。

メンバーのコーナー

さいごの城

米田太

クーラーいらずに すごせるこの建物

さむさをしのげる建物

多くの人が、ここつどう。

もう5年目むかう この店エコハウス

もう5年目むかう いばしょエコハウス

ありがとう 英ゆうさん

大切にしますから。

ガンバりますから

どうか、安らかにねむって下さい。

大事にしますから すえながく

だって あなたがつくった

しろだから

英ゆうさんがのこした

さいごのしろだから

ぼくらが、守ります。

ありがとう、

あなたがいなかったら

今のおれたちなかった。

4月13日逝去された木内昭さんに贈られた、作業所メンバー米田太さんの詩です。告別式にて当会代表杉浦が紹介し、ご遺族の皆様にお渡しさせて頂きました(編集後記参照)。

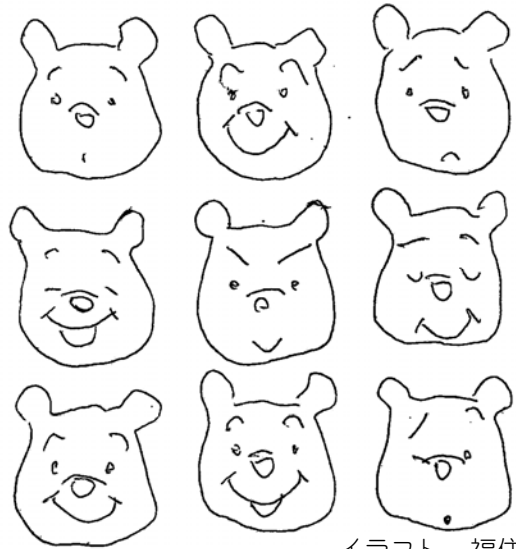


イラスト 福住さん

アンパンマン スポンジボブ
大集合



ドキンちゃん

食パンマン



イラスト 阿部さん

リサイクル作業所日記 2011

「いらっしゃいませ。今日は衣類のセールをやっています。ぜひご利用下さい」

ハンドマイクで店内放送をしているのはメンバーのFさん。

2階の衣類売場ではメンバーのMさんがクイックルワイパーで床の拭き掃除をしている。

「兄ちゃん、今日は安いんで？」

お客さんに呼び止められる。

「2割引になります」

「これはなんぼに（いくらに）なるん？」

お客さんから手渡された服には 700 円の値札。

「……………ちょっと、聞いて来ます」

Mさんは、階段を下り、レジ担当メンバーのNさんの所に持って行く。

「お客さんに聞かれたんやけど。これ（今日は）いくらになるん。俺、計算苦手やけん」

Nさんが電卓をたたく。

「今日はセールなので 560 円」

「560 円やね」

階段を上って行くMさん。

「お客さん、560 円です」

「ほな買うわ」

分からないことは分かる人に、できないことはできる人に助けを求めればよい。

「品物並べたぞ。はよう値段付けて。もうテーブルの上がいっぱいじゃ」

中堅スタッフのKさんが仕事の手際のよいメンバーBさんにせかされている。

スタッフはメンバーからいつも仕事ぶりをシビアに見られている。ちょっとでも気を緩めると、厳しい言葉が容赦なく飛んでくる。

「段取り悪いわ」

「まだ終わらんのかいな？」

「人にはやかましいに言うくせに」

こんな時、未熟なスタッフほど「スタッフ」という立場にしがみつこうとする。そんな浅はかさは簡単に見抜かれる。

いい意味での緊張感が、スタッフの肥やしとなる。 (次号に続く)

きんぎょ

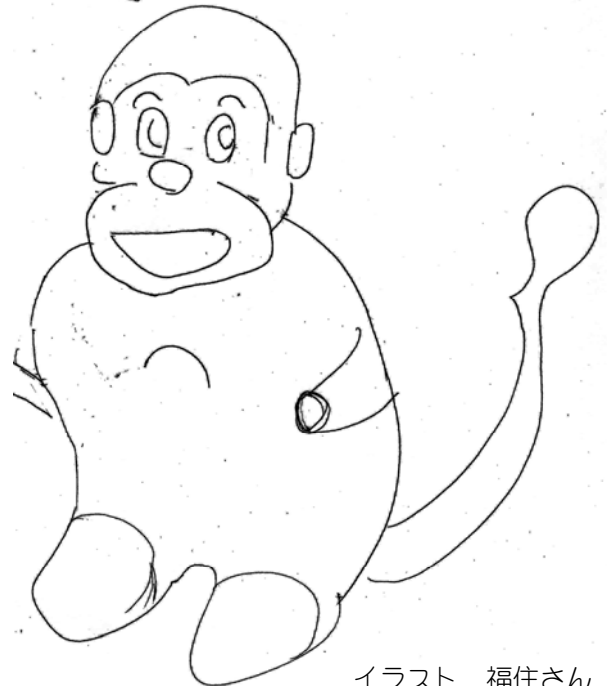


イラスト 福住さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§平成23年2月1日～平成23年3月31日§（紙面の都合上、敬称は略させていただきます）

ご寄付を下された皆様

おあたか静流、般若院募金箱、藤田、成瀬、宮崎、中西、松平、竹内、都築、(株)六右衛門、芦田（郵便振替口座にご入金下さった皆様）森、三代田、阪野、近藤

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○松下、池本、藤井、増田、直江、吉内、竹山、西、桧垣、高橋、中尾、小川、松本、峠、片岡、中村、村上、近藤、八木塗料、吉岡、岩佐、河野、浦部、岡田、藤井、勝瀬、徳島信用金庫、藤川、杉山、熊本、井端、前田、市原、片山、米延、小倉、竹岡、岡久、中西、加戸、徳島県勤労者福祉ネットワーク、柴田、ヘアーサロンフミ、松下、飯田、中川、川瀬、原、平田、武田、田中、安友、金丸、清水、早渕、久米川歯科、坂東、野々宮、福田、元木、東富田公民館、井口、岩崎、木村、米本、瀬川、大田、野田、長久、(株)フルノ、渡辺、ホテルサンルート徳島、大浦、宮地、林、鈴江病院、郡、梶本、青木、植田、宮崎、湯浅、盛、上田、佐藤、阿部電機、大家、松岡、沢田、こうじ、勝田、平島、あいば、藤田、山田、川島、石井、篠原、阿部、三宅、川又、尾杉、三木、井原、小林、森、松永、町田、美馬、おすぎ、宮本、八木、久野、武市、長浜、太田、石本、坂野、新居、村田、岸岡、青井、谷川、内村、中川アニマルクリニック、上山、田上、横井、蔭山、菅、おおむね、豊田、井上、長岡、秋田、ブラックジャック、大櫛、桑村、大西、片桐、川畑、弘中、中峰、前野、山下、呉、臼杵、りゅうし、川端、白木、吉川、四宮、菊池、天満、岩城、東條、神田、かすみ、作田○上板町○長江、樫原、高岸○板野町○吉本工務店、岡本、小西、近藤○鳴門市○秋本、大森、大和、石川、大石、木谷、松本、佐々木、鳴門第一小学校○吉野川市○森本、土井、木村○藍住町○瀬筒、笠井、長谷部、藤森、大森、岡本、辻、佐藤、朝波、澤、日下、森、藤井○北島町○浜田、川崎、杉岡、高口、白田、結城○松茂町○二宮○小松島市○内藤、大森、山川、内山○阿南市○天羽、中本、坂江、庄野○石井町○矢田、中村、河野、宮重、中井

徳島在住時、ソムお世話になっておりました。
先日、北見市へ引越したのですが、荷物の中から
パソコンの取扱説明書が出てきましたので、
(本体はカゴニリに持込済)
送付させていただきます。
もし本体が売れてしまった場合は、お手数ですが
破棄して下さいます。
よろしくお願ひします。

太陽の緑リサイクル 様

太陽の会様



前略 始めて荷物を送らせて
いただきます。着ていた服・カバン等
仔なのですが、よろしくお願ひします。

お世話になっております。
引越シーズンでお忙しい時期に
申しわけございません。
売り物になるとよいのですが…
お手数ですが、よろしくお願ひします。

品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

○徳島市○北川、山本、カンガルー歯科、佐野、岡崎、井川、松下、土居、松村、川端、羽柴、真鍋、秋田、久保、中野、吉田、富永、永峰、井上、秋山、宮本、後藤、行成、柴田、丸笹、乾、曾谷、井出、西原、杉本、曾木、宮島、武中、梅谷、桑原、谷、山田、和田、藤川、長浜、清水、西川、西野、田村、天田、福家、宇原、野々瀬、竹田、工内、河野、千松小学校PTA、内海、谷口、石山、川人、川尻、宮井、富峰、徳島信用金庫、川口、糸井、寺内、山口、迫、荒井、木村、切中、太田、滝川、河江、福井、藤吉、武田、松田、丸岡、大上、玉置、小川、池添、上田、青木、藤井、高丸、坂本、鎌田、岩本、林、堀江、森、川上、宮崎、大櫛、関口、矢野、三星、元木、久次米、岩崎、丸谷、元川、藤澤、中辻、西、宮田、萩木、岡本、水落、流、田所、新居、大石、竹重、岡、藤川、香川、美記、鹿山、板東、天羽、中西、松本、大西、蔭山、粟坂、早藤、楡木、都、早原、岡山、北野、内藤、長尾、野口、宮城、原、長谷川、芝井、岩佐、安井、井内、石原、吉野、一心運輸、榎葉、為実、中村、八田、窪川、川崎、長岡、馬越、野々宮、盛、松島、六田、阿部、団、石井、三浦、縄田、堀、久米川、井関、桜井、藤原、木元、篠原、久住、氏家、山下、労福協 なのはな、金重、賀川、山橋、金木、佐々木、西山、杉村、湯浅、eko、北村、中川、西村、美馬、田口、大隈、犬伏、菅原、小林、鈴江、常楽園、佐藤、大井、片山、小栗、谷村、末長、小島、竹下、竹内、勝田、国府支援学校高等部3年生、赤川、吉成、藤本、粟飯原、近住、岩田、柏原、七條、青井、中須、中平、小泉、上藤、松原、林、丸谷、前原、山城、中山、十河、小松、田中、津田、明丸、谷井、浜田、谷原、田岡、近藤、吉富、西森、野崎、服部、稲葉、湯本、松浦、猪本、長田、東端、菊池、巻、豊岡、奥谷、森田、古川、立石、岩瀬、照本、川島、森下、吉岡、大岡、広岡、川村、畑中、斎、吉村、西本、熊本、石田、大村、糸林、かさい歯科医院、平岡、西尾、(有)渡邊工務店、河崎、富永、井原、高橋、河原、森崎、奥村、福本、ばんどう美容院、戸田、池田、門田、多智花、仁木、多田、橋本、岡田、梶原、前川、松平、榎下、越、三宅、三木、村上、村本、大和、山花、(株)大崎建設、角田、大代、福永、上山、左海、小池、大知、川内、荒木、粟谷、樋口、岩見、生駒、久保田、芦田、為実、白木、大北、姫野、○吉野川市○内海、上村、川野、中村、近藤、村上、吉田、上浦小学校、楡木、阿部、藤川、長瀬、小川、富浦、有持、川村、住友、新谷、松島○板野町○岡本、上田、北岡、笠井、井上○北島町○大中、今市、飯坂、芝、杉野、長田、森吉、森下、野上、下山、田根、中尾、内田、萩原、多田○石井町○井上、加藤、丸岡、安岡、小田、矢野、天羽、久次米、藤本、森野、赤尾、堂前、吉成、上杉、西村、坂口、児島、高橋、村本、久米、阿部、山本○小松島市○中川、岩本、宮田、船越、芝原、高田、谷、三原、内藤、山城、阿部○兵庫県○服部○静岡県○杉本○鳴門市○川西、

★ボランティア予定★

1/27 (木) 10:00 ~ 15:00

今年も宜しく
お願い致します。



©&™ Simon & Schuster, Inc.
Licensed by United Media.



新年のころ一ヶ月 寒い日々
ひびきりまわす
二月はもう少し暖かい日が続く
ほろほろとあります
雨の少くイソフルエニテ流行
か心配されたりします
皆さまにはお変わりありません
何の段になさるべきです

石丸、大石、水落、森井、永峰、笠井、瀧下、川村、梶、渡辺、芝商事、大西、長友、岡本○上板町○安芸、石井、山田、橋本、河村、井上○阿波市○大崎、中村、天満、百、笠井病院、瀬尾、鳴川、中西、三浦○藍住町○前田、福良、杉村、山田、中尾、真柴、岩本、吉武、有島、堀内、関、浅川、森、寺内、桑原、小笠原、象潟、阿部、吉成、横田、山本、北岡、島本、梶本、末次○美馬市○藤本、竹岡○阿南市○石川、羽ノ浦消費者協会、川田、武市、三木、天羽、村上○那賀町○円奈○松茂町○廣田、三好○神山町○藤川○美馬市○大西○和歌山県○吉岡○つるぎ町○谷○勝浦町○若木○海陽町○神沢○香川県○六車、猪ノ口○埼玉県○吉田○東京都○高坂

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方もおられ、実際は上記の2倍以上の方のご協力を頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも旬のお野菜や自家製のお漬物を持って来て下さる吉田様、昼食にシーフードカレー、ポテトサラダ、牛丼などを差し入れて下さる河野様、甘くておいしいデコポンなどを下さった多田様、花壇の手入れをして下さった藤永様、小林様、その他、お野菜やお菓子を持って来て下さった大勢の皆様、本当にありがとうございました。

先日以下 お世話になりました。(取組に来た心遣い)

少いけれど本が有りましてリサイクルして頂くのを思い

送らせてもらいました(電話でオーダーという返事ともらいました)

お菓子(くろ麦)は現在84軒に配布(子供の手作業で焼いています)

何分にも高齢で硬い時があり、軟かかたりあるので

それなりにおいしいと思っております、

皆様で休憩の時、お茶受けにでもして頂くのを希望です

高齢にもかかると働いている姿も見ると私共も励まされます。

皆様も年末に向けてお忙しいと存じますがくれぐれもお身体に

気をつけて、元日どうぞよいお年をお迎え下さいませ

2020年を祈ります。

かしこ

編集後記～無料はよいことか

ある精神科病院では、国民健康保険等及び自立支援医療を使うと、1回7200円のデイケア利用料(午前9時～午後3時)が720円、デイケア利用時の昼食代500円が50円になります。差額は保険料と税金で負担しています。

自立支援医療制度では、所得水準によって本人負担額に上限設定があります。

例えば、統合失調症の当事者の方の場合、市町村民税非課税世帯で本人収入が年間80万円以内ならば月額2500円。同課税世帯で、所得割額が3万3000円未満であれば、月額5000円が上限です。それ以上は払わなくてよいということです。

先ほどのデイケアを給食付で利用すると、1回につき770円かかります。3回の利用で2310円。上限が2500円ならば4回目は190円、5回目からは何回使っても無料ということです。

上限2500円の当事者の方が月に15日利用すれば、年間135万6000円の保険料と税金が使われることになります。

費用の心配がいらず、デイケアが利用しやすくなり、再入院の予防に寄与する、という意味では本人にとってプラスと言えます。入院に比べれば、社会的コストも少なくなります。

しかし、「何回使っても無料」に伴うコスト感覚の麻痺は、ケースによっては、特定のサービスへの過度な依存を誘発し、費用対効果の検証も不十分となる可能性があります。

地域共同作業所等に通う当事者の方は、500円の昼食を週5日食べると1カ月で1万円以上かかります。それを節約するために、スーパーで特売品のお惣菜、安いお弁当を探したり、自分でお弁当を作ったり、と工夫する人もいます。

考えてみれば、こうしたやりくりは、私たち庶民の暮らしでは当たり前のことです。



「様々なハンディを持った人に、できるだけノーマルに近い生活を保障していくこと」がノーマライゼーションの理念であるならば、広い意味での「働く場」と、ノーマルに近い生活を営むために必要な所得を本人に保証した上で、サービスの対価は払って頂く、というのが本来的かもしれません。

対価の支払は、それに見合うサービスを求めることにもなり、サービス水準の向上につながります。「7200 円のサービス」という意識が、サービスの質を担保するのだと思います。

自立支援医療制度のような上限設定ではなく、最初から無料という制度も数多くあります。震災被災地の復興が最優先課題となった今、「無料の再検討」が始まる可能性もあります。(小山)

訃報

平成 23 年 4 月 13 日、木内昭さん(元木内工務店社長)が亡くなりました。享年 83 才でした。

木内さんとは 20 年来のお付き合いでした。太陽と緑の会月の宮共同生活棟の建物は、木内工務店の事務所兼倉庫だったものです。徳島自動車道開通に伴い解体処分となるところを「まだ使えるのにもったいない」と、当会に寄贈して下さいました。照明器具、畳、サッシ、流し台、浴槽など、備品の 7 割は、「もったいない精神」で集められたリユース品でした。平成 5 年 4 月より、様々なハンディを持ったメンバーの生活の場として使わせて頂いております。

平成 11 年 10 月には木内工務店で使用していたダンプトラック(昭和 62 年)を頂きました。今でも資源・不燃・可燃ごみの搬入車両として、当会で活躍しています。

平成 17 年 2 月 27 日、太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗、70 坪 2 階建ての建物が火災で全焼しました。

すぐに 78 才の木内さんは設計に取り掛かり「これが最後の仕事になる」と新館の再建に奔走されました。ご自分の日当は一切受け取らず、多額のご寄付までお寄せ下さいました。

太陽と緑の会の新館再建 5 周年を見届けるように、旅立って行かれました。木内さんなくして、今の太陽と緑の会はなかったと思います。これまで、本当にありがとうございました。

合掌

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間 300 日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会 〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX

088-643-1054 (事務局)

088-642-1054

(リサイクル、地域活動支援センター)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

データ入力 岡田 郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員 1 万円 準会員 1,000 円

郵便振替口座：01620-8-44703